

Ⅲ 懇談会（住民・専門職）の結果

第1章 住民懇談会の結果

1 概要

(1) ねらい

調布市地域福祉計画で掲げた地域力強化に関する取組のうち、特に地域で推進され、成果・課題どちらも挙がっている「身近な地域交流拠点の充実」について、地域ごとの進捗状況を把握するとともに、更に推進するための方策を検討する。

(2) 実施概要

参加者	調布市に在住, 在勤, 通学している方。 主に地域で活動している担い手の方: 民生委員・児童委員, 町内会・自治会, 老人クラブ, ひだまりサロン, 地域福祉コーディネーター等。
テーマ	お住まいの地域について「思い」を話ませんか? ①今ある地域交流拠点(内容, 課題) ②これからの地域交流拠点(あるとよい拠点, 活用できる地域資源)
実施時期	令和元年9月～11月(詳細は下記参照)
開催回数	6回, 1回2時間程度
実施手法	○6～7人で1グループとし, 5グループ程度で, グループディスカッション形式の懇談会を実施 ○小学校区ごとにテーブルで分かれていただく ○OKJ法でまとめ, 最後に模造紙を貼り出し結果共有

(3) 各地区の日程・会場等

	地域名	日時	会場	参加者数
1	緑ヶ丘・滝坂小学校地域	9月29日(日) 9:30～11:30	仙川ふれあいの家 (せんがわ劇場3階)	8人
4	北ノ台・深大寺小学校地域	10月19日(土) 9:30～11:30	調布市総合福祉センター 201-203	5人
5	第二・八雲台・国領小学校地域	11月2日(土) 9:30～11:30	調布市民プラザあくろす ホール1	9人
8	第三・石原・飛田給小学校地域	11月2日(土) 14:00～16:00	調布市総合福祉センター 201-203	10人
2	若葉・調和小学校地域	11月9日(土) 9:30～11:30	調布市文化会館たづくり 12階 大会議場	10人
6	染地・杉森・布田小学校地域			
3	上ノ原・柏野小学校地域	11月9日(土) 13:30～15:30	調布市文化会館たづくり 12階 大会議場	15人
7	第一・富士見台・多摩川小学校地域			
計				57人

(4) 当日の内容

1. 開会, あいさつ
2. 現計画の該当圏域の説明
3. 調布市での地域交流拠点の事例紹介(地域福祉コーディネーター)
4. 次第, ルール説明
5. グループごとの時間
 - (1) グループごとの自己紹介
 - (2) グループごとの話し合い①: 今ある地域交流拠点(内容, 課題)
 - (3) グループごとの話し合い②: これからの地域交流拠点(あるとよい拠点, 活用できる地域資源)
6. 結果共有

※各グループの意見を整理した模造紙を壁等に貼り出し, 参加者がすべてのグループの内容を見て, 賛同した意見に「いいね」シールを貼付
7. 閉会, 参加者アンケート記入



2 懇談会での主な意見

(1) 緑ヶ丘・滝坂小学校地域（2グループ）

【グループ1】 ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆住民の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会活動(敬老会, 防災訓練, 文化祭等) 寿会(男性だけのあつまり) おしゃべりサロン 小学校・児童館等での子どもの居場所づくりとして「おせっかい広場」をして活動 <p>◆行政</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会, 緑ヶ丘福祉センター 地域センターきずな 「ふれあい給食」, 緑ヶ丘小学校内 <p>◆地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 仙川オレンジカフェ, 緑ヶ丘地域福祉センター 10の筋カトレーニング, 緑ヶ丘小学校内 地域包括支援センター 	<p>◆利用者が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア不足(若い人との壁) 利用者少ない(周知不足) 仙川オレンジカフェ, 参加が増えるとよい 「ふれあい給食」利用者が減少傾向 寿会の女性の参加をどうするか 女性の参加をどうしようか <p>◆リーダーの不在</p> <ul style="list-style-type: none"> 10の筋カトレーニング, 参加者が自主的にやること <p>◆高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み後継者がいない <p>◆お金が不足している</p> <ul style="list-style-type: none"> お金不足(場所がない, 企業とのつながり) 子どものイベントは無料での提供なので, 資金の調達に苦労している 自治会入会者減少, 予算減少 <p>◆住民意識</p> <ul style="list-style-type: none"> つながり, 結束は強い。一方, 町内会で分断される活動がある エリアでくっきり分かれている <p>◆場所をどこにするか</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人宅でやるべき
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆相談場所(●5)</p> <ul style="list-style-type: none"> シルバー交番(地域でつくる高齢者の窓口) 高齢者向けの運動公園 戸建のひとり暮らしの方へのアプローチ→拠点を増やす 自治会が利用できる集会所をつくる <p>◆とりのえの発掘(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 弱さを強さに!! 多世代の視点 粘り強い説得, ひとり暮らしの人を対象とした食事会 <p>◆防災を強化(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災公園, どの自治会も利用できる避難訓練ができる <p>◆望ましい運営の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> お茶は自分で負担 年2回飲食会 テーマ・資料はその都度 フリートークでタブーはなし(成功体験はダメ) 	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆場所(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業(薬局, クリニック, スーパー, 駐車場, 老人ホーム, コンビニ, カフェなど) 空きスペース(家, 店舗, 庭, 部屋, お寺など) 緑ヶ丘団地建替え後の売却予定の土地を調布市で買ってもらいたい <p>◆人材発掘(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定年退職者への粘り強い声がけを(担い手として) 担い手不足, 若い人にも協力してほしい 引っ越してくる人をつかまえる ボランティア意識のある人 転がせる人が必要 人材講座

【グループ2】 ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館(東部公民館) 図書館(染地, 団地内) 児童館(つづじヶ丘児童館) 保育園, 小学校(杉森, 緑ヶ丘) 白百合女子大 地域福祉センター(染地) <p>◆サロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ひだまりサロン(緑ヶ丘) 農園サロン おしゃべりサロン <p>◆福祉施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者の作業所(カフェになっている) 有料老人ホーム 仙川地域包括支援センター <p>◆商業施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街ハロウィンイベント 大型スーパー, ホームセンター <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> おまつり ほんのもり(緑ヶ丘)(個人事業主グループ) 多摩川 学校給食(高齢者向けのもの) 	<p>◆今ある場所の活用ができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな目的に対応する多様な拠点の確保 地域貢献できる商業施設がわからない 桐朋音大の活用(場所・人), 音楽イベント お寺の活用ができていない(場所) 安定して使えるオープンスペースがない 拠点はあがるが目的や方法が明確な人しか利用できない <p>◆拠点に関わる人がどこにいるか何をしているかわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手不足 いつも同じ顔ぶれ, なかなか広がらない 働きに出ている人が利用しにくい 日中の夜間の活動 高齢者ばかり, 縦の交流がない 福祉の専門職の活用ができていない(人) 白百合女子大の学生の活用ができていない(人) <p>◆情報の発信・受取が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動内容の周辺等への広報活動 情報が少ない 探そうとしないと見つからない 情報の受け取り方問題 活動に対する地域での意識共有 民生委員が子どもに怪しまれる, 拒否される
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆簡単に情報が得られる(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉関係の産官民複合のポータルサイト 情報を得ることができる場所 <p>◆ふらっと寄れる(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定の活動を行わない 誰でも集えるところ(目的なしに) いろいろな活動ができるところ(スポーツ, 学習, 飲食) いつでも集えるところ(世代に関わらず) ふらっとよることができる場所, 話し相手 <p>◆誰もが集える(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広い時間帯に開かれている(公的)スペース 子どもたちが走り回れる騒げる広い空間 明るい, 入りやすいスペース 子育て中の方や高齢者が交流できる場所 買い物帰りによることができ, そこに誰かがいてくれるスペース 子育て悩み相談(乳母的な) 講演会(市民からのオーダーに応じてコーディネートしてもらえよう) <p>◆食でつながる(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域食堂, 子どもや高齢者だれでも参加 フードバンクを活用したカフェ(無料に近い) 	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆今使われているものの更なる活用(●5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の店舗や商業施設 スーパーの空きスペースの活用, 相談のできるカフェ 認知症カフェとして既存のカフェを活用 自動車ディーラーでの洗車(就労ではない謝礼での活動) 物作り・体操・ヨガ体験・農家の手伝い <p>◆人財の活用(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 頭脳バンク, スキルバンク 地域の大学生(小・中・高は難しそう) 学生を活用した地域支援 既に活動している方の家族で若い人(アドバイザー的に) <p>◆既存のもので使われていないもの(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人が住んでいる家の空きスペースの活用 お寺の空き時間を使った地域交流 会議室(マンション) 大学での空きスペースで地域交流 <p>◆公共施設として使われている</p> <ul style="list-style-type: none"> たづくり, みんなの広場 市民活動支援センター, オープンスペース ふれあいの家の空き時間の開放

(2) 若葉・調和小学校地域（1グループ） ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆地域の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地域交流活動 ・ひだまりサロン(若葉, 高齢者会食) ・10 筋体操, 10 の筋力トレーニング ・ラジオ体操, 自治会 ・回覧の配布と寄付金 ・手作り市 ・サルベージ <p>◆地域の民間の活動場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若葉の杜(有料) ・地域スーパーの活用 ・(仙川)ハーモニープラザ ・入間2丁目オリーブ ・グループホーム交流スペース, 至誠ホーム若葉 ・マンションの集会室 <p>◆公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若葉小, 第四中, 学校施設 ・公民館 ・地域センター ・福祉施設(地域貢献) ・桐朋学園の活用 <p>◆人・ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守りパトロール ・援農ボランティア, 山内農園 ・個人の畑 	<p>◆担い手がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の活用 ・人材の壁 ・特に若い人の参加・加入が少ない ・若い人の関心がない ・担い手不足, 役員の高齢化 <p>◆自治会加入者が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会に入らない ・組織の壁 ・自治会の回覧板が回せない <p>◆行政主導が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政が主導で多い(縦割り) ・行政からのやらされ感がある ・町内会が機能していない ・地域主権 <p>◆活動場所の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所がわからない ・常設の場所がない ・集まる場所の確保 ・制約が多い, 厳しい ・活動拠点の壁 <p>◆意識の壁がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・格差 ・意識の壁 ・ボランティアの概念の違い <p>◆情報が不足している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が届かない, 受け取れない ・地域で何が起きているのかわからない, 伝わらない <p>◆地域で話し合う場が少ない</p>
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆子どもの遊ぶ学校・保育園(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子どもたちが遊べる場 <p>◆特技を活かす(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間的な就労の場 ・特技が活かされる場 <p>◆話し合える常設の場所(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設の場, 常設の地域の居場所 ・情報をキャッチ, 交換できる場 ・話し合う場が必要 ・ふらっとよれる場所がほしい ・縁側の場(目的なく集まれるオープンスペース) ・地域包括支援センター仙川(オープンスペース) <p>◆住民自治協議会(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域主導のまちづくりを推進していく ・住民が主体的に地域課題 <p>◆新しい公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の自由に利用できる室 ・図書館 <p>◆相談できるところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉相談(ワンストップ的) ・問題解決の場 <p>◆(あたたかい)食事ができるところ</p>	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆民間の人材を活用(●7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割を分担することで若い人にも参加してもらう ・一人一時間でもいいから地域ボランティアに協力できるとよい ・地域リーダー ・学生 ・民間コーディネーター <p>◆一芸を持っている人(歌が好き, 楽器)(●2)</p> <p>◆一人暮らしの方, 住まい活用(●1)</p> <p>◆地域の困っている人の発掘, それを支援する人の発見</p> <p>◆地域福祉に熱心な人</p> <p>◆ネットワークをつくる</p> <p>◆問題所有の原則で発信者を大切に(●1)</p> <p>◆学校・保育園(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園の交流スペースの活用 ・学校(公・私)の活用 <p>◆民間・地域の場(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お寺 ・民間の施設 ・商店 ・集合住宅の集会所 ・自治会館 <p>◆空き家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家 ・空き店舗 <p>◆自然 ・野川を活かす</p>

(3) 上ノ原・柏野小学校地域（2グループ）

【グループ1】 ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆公共施設の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあいの家(上ノ原・佐須) 小学校(上ノ原, 柏野), 中学校(神代) 晃華学園 ・佐須児童館 盆踊り, 地域運動会 ・うた声喫茶 菊野台地域福祉センター ・北部公民館 地域包括支援センター <p>◆民間施設の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 神代湯 ・マツキヨの2階スペース スーパーTOPふれあい広場 彩ステーション(おしゃべり, 食事会) 個人病院でのデイサービス <p>◆健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 柴崎公園, 子どもから老人いろいろなスポーツ 上ノ原公園, 夏はラジオ体操(子ども) 趣味のクラブ ・10の筋力トレーニング 調布体育館, 水泳教室 調布 keijinkai クリニック <p>◆住民主体の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> うさくち, 0歳児のママとランチ 見守りネットワーク サロン, ランチの会, サロンハイム, 金曜サロン等 地区協議会, 上ノ原まちづくりの会 里あそびの会, 農の家 	<p>◆若い世代の人手不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動を支える若い人が少ない 若者のパワーが高齢者層に届かない 子ども会の参加が少ない 子どもが遊ぶ公園が少ない(ボール遊び等) 北部子どもまつりの参加者が減少 集客が難しい <p>◆地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で心配な人の見守りをどうするのか? ご近所さんってどこまでやってあげていいのか? 参加してほしい人が参加ができていないのでは? 朝のラジオ体操にご近所からクレームが来た 知らない人に声をかけることへの理解 <p>◆場所の確保が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館は利用者が固定化している 公民館の予約が取りにくい 集まりやすい場がない TOP, 借りたい時にいつでも使えない クロスガーデンの空いているスペースの活用 <p>◆壁</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報への壁 男性の地域デビューの壁 <p>◆バスが必要</p>
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆もっと深めよう近所の「絆」(●4)</p> <ul style="list-style-type: none"> Wケアをしている人のネットワーク まず近くで集える場をつくる 自由に出入りできる屋根のついているところ とりあえずご近所さんとつながる, 近所の助け合い 地区の自治会を活発にする ふれあいの家でフリータイムを週1回つくる 気軽に地域デビューできる場 住民の意識を前向きに ひきこもり高齢者の地域デビュー <p>◆もっと深めよう!!あったらよい地域活動(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のみんなであいさつし合う仕組みづくり 隣近所のちょっとしたおせっかい活動を可にする 情報共有の仕組みづくり必要 住民が声を出せる環境を考える 職場(仕事)を体験できる場所 リタイア後の地域活動プランを作る お酒を飲める夜のサロン(男性向け?) 異世代交流の居場所 小中学生に対しての地域課題の共有・教育 子ども食堂 ・学習支援 	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆欲しいお節介さん!(●5)</p> <ul style="list-style-type: none"> お節介おばさん ロコミ(情報)を流してくれるおしゃべりな人たち お父さん世代の協力を得る工夫が必要 <p>◆あったらいい移動支援(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ミニバス混みあう時間には大きいバスに 助け合いタクシー事業 外出しやすいよう交通の方法→工夫 移動車(図書) ・移動スーパー 高齢者を公共施設等に送ってくれる無料バス <p>◆こんな情報も欲しいな~!(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報発信の場(ネットが使えない方達に) 災害が起きた場合をもう一度確認したい タブレットPCの配布・貸出→レクチャー(学生) ネットの活用, ジモティのような地域活用の共有 <p>◆活用したい空き家等の場所(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家の活用 ・ひとり暮らし高齢者の家の活用 ほんの近くに集会所 家庭内であまった食材を身近な場所で提供 赤ちゃん連れでも気軽に過ごせる場所 <p>◆安全対策(バス通り)</p>

【グループ2】 ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆高齢者向けの集いの場(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つつじヶ丘ハイム, ひだまりサロン ・彩ステーション, 柴崎西部医院隣 ・こもれび深大寺東町, 介護者支援 ・深大寺レジデンス内コミュニティ活動 <p>◆学校のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練, 夏祭り, 地域運動会, こいのぼり祭り ・佐須児童館まつり <p>◆地域のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国領駅前夏まつり・琥珀神社さずっ子まつり ・野川大清掃・どんと焼き <p>◆まちづくりの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの会, 登下校の見守り, 防災訓練, 町の美化運動, 花植え ・活動拠点:ふれあいの家, 北部公民館 <p>◆パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だるま市健全パトロール ・七中 100人パトロール <p>◆地域の方が使える場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部公民館サークル活動 <p>◆子どもが集う場・子ども食堂</p> <p>◆国のイベント・社会を明るくする運動</p>	<p>◆交通が不便(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段があまりない ・コミュニティバスの本数が少ない ・コミュニティバスのルートがわからない ・利用料が高い ・地域が広すぎる <p>◆世代間のつながりがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代のつながる環境がない ・世代ごとに集まる場所がバラバラ ・多世代交流が難しい <p>◆情報入手が困難</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひだまりサロンの活動場所がわからない ・情報が届かない ・情報媒体が不足している <p>◆ランドマークがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の中心となる場所がない ・場所がない(せまい) <p>◆特定の人にかたよりがち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足, 第1世代→第2世代引き継ぎ難しい ・来ても特定の人しかいない
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆世代に関係なくいつでも行ける場所(●7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代で出入りするより大きな拠点(保育園+児童館+高齢者向け) ・徒歩圏内で立ち寄れる交流拠点 ・高齢者がふらりとよれる場所 ・障害のない人もある人も参加できる ・まちの保健室・介護と子育ての交わり ・混合施設 メディカル, シニアレジデンス, 教育(子ども) <p>◆ランドマークとなるもの(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランドマークとなるもの ・統一したマーク(旗とか) ・エリアとして愛着の持てる施設 ・地域としての一大イベント(毎年) ・顔になるイベント ・コミュニティバスのターミナル・複合施設 <p>◆共通の趣味の人が集まれる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドックランが欲しい <p>◆誰もがつながれる防災のしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の連携 ・どんな人でもアクセスできるしくみ ・地域パトロールのしくみ(シニア層の活動) <p>◆誰もが使いやすい会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急な時でも借りれる会場 ・公共施設を会場として使用できる仕組み 	<p>◆若い人(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生の活用 ・中学生の活用 ・活動の支え手の掘り起こし <p>◆経験のある人(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔からの地域の人と新しい住民の交流が課題 ・定年後の活動の場としての地域 ・高齢者, 経験のある人 <p>◆自然豊かな場所(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスレチックがある ・とんぼ公園みたいな自然がたくさんあり, 散歩できる場所 ・カニ山の有効活用 ・柏野エリアの田畑・用水路の活用 <p>◆学校の活用(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 ・校庭 ・学校の図書室 <p>◆空き家(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用, いろいろな活動の拠点となるような <p>◆既存の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祇園寺 ・ふれあいの家(第一, 第二, 第三) ・駅(掲示板)

(4) 北ノ台・深大寺小学校地域（1グループ） ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆サロンで情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会集会室, 自治会館・認知症カフェ 自宅の離れのサロン・農園サロン <p>◆地域イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> おまつり・商店街, イベント ふれあい朝市で地域活性化 フリーマーケット・梅の湯 スーパーのコミュニティスペース <p>◆公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館(子育て広場)・地域福祉センター 福祉センター(教育会館) 公営住宅集会室・あくろす(国領) <p>◆福祉施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 特養, 高齢者施設 保育園, 地域交流スペース 希望の家, 近隣との交流 <p>◆学校を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校開放・おもちゃの病院(電通大) 日本語教室 <p>◆常設の拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 野ヶ谷の郷 	<p>◆場所が遠い, 交通の便が悪い</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩いて行ける距離にない・銭湯が遠い イベントの開催場所が遠い 地域交流拠点「野ヶ谷の郷」が遠い ミニバスの停留所・本数が増えるとよい <p>◆情報がない</p> <ul style="list-style-type: none"> どこでどんな活動をしているのかわかりにくい 賃貸マンションは自治会加入・地域交流なし 福祉センターが移転した後, 高齢者, 障害者が集まりにくい, 問題として心配 <p>◆同じ人が活動している(新しい人がいない)</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年の地域の祭りの担い手がいらない 参加者の固定化(担い手) ひだまりサロン, 途中からの参加がしにくい <p>◆担い手が高齢化している</p> <p>◆施設が利用しにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉センターの利用がしにくい クリーンセンターの集会室の活用 <p>◆場所がない</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院(内科)以外がほとんどない 障害のある人の居場所があるか?
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆いつでも話せる(相談できる)(●5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流しながら困りごとを相談できる 変化に気づける 気軽に茶話会ができる場所 誰もが気軽に立ち寄ることができる場所 独居高齢者が気軽に立ち寄れる場所 野ヶ谷の郷のような常設の拠点 子ども食堂 高齢者や子どもと一緒に参加できる食堂 家庭で子どもが一人ぼっちにならないよう子どもを見守ってくれる人がいる居場所 <p>◆多世代交流(●5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 深大寺東町サンドラッグにあるようなベンチ 多世代で行えるスポーツイベント 障害者も来やすい健康づくり活動等 親子(乳幼児)で気軽に遊べ, 交流できる シニアと子育て世代等, 年代を超えた交流 子育て世代が地域の人たちにアドバイス・交流ができるように <p>◆個人の得意分野(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意なこと・やりたいことが誰かの役に立つ <p>◆自由に過ごせる場所(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが集まれる居場所・自由に過ごせる <p>◆空きスペースを利用する</p> <p>◆役割をもっているいろいろな人が関わる</p>	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆人材(●4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間に余裕のある高齢者 大学生や高校生の活用 PTAの保護者 子育てを終えたお母さん 借りる場所に迷惑のかからないよう準備・掃除を含め担当できる人(元気な高齢者) 定年退職した男性の得意分野を生かしたもの 地域福祉に興味のある方 <p>◆空き家・空き店舗(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家, 空き部屋 個人宅の空きスペース スーパーやドラッグストア 会社や企業の空きスペース <p>◆福祉施設の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> はなみずきのスペースの開放 福祉施設・保育園・ふれあいの家 障害者・高齢者施設・希望の家 地域包括支援センター <p>◆その土地に根付いている地域の資源</p> <ul style="list-style-type: none"> お寺(深大寺など)・クリニック 銭湯(梅の湯・深大湯) 神代植物公園 畑・農園 <p>◆クラウドファンディング</p>

(5) 第二・八雲台・国領小学校地域（2グループ）

【グループ1】 ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆地域の自主活動(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ひだまりサロン 絵画の会 小学生のポッチャ 子供会「ふだっ子供会」 みんなでカラオケ マージャンの会 ポレポレ <p>◆公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校, 体育館(地域開放) あくろす 児童館 ふれあいの家 子ども家庭支援センターすこやか <p>◆公共と民間の間の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 都営(市営)住宅集会室 集会場 ゆうあい認知症カフェ 福祉作業所のおまつりなどのイベント 	<p>◆担い手が少ない(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手不足 ・後継者 協力してくれる地域の方々の変化・高齢化 職員のみではやりきれない 活動をリードできる人が少ない(機械操作) <p>◆利用者が集まらない</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員数の減少(意識の変化等) 利用者がいつも同じ ・高齢化 来て楽しんでもらい終わってしまいがちな点を何か工夫できないか 意識の問題 若い人は忙しくて参加できない <p>◆施設が使いづらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 民家のため出入口・トイレがせまい 個人宅ではなく公的・商業施設がよい 備品の保管場所がない 会場のセッティングが大変 <p>◆活動場所が近くにない</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩いていけないと困る 活動場所がない(ごく近所にない) あまりに近所だとお話し話になるのが嫌 ここは・・・と思うところに声かけにくい
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆それぞれの特性に合った場所(●8)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中間就労の場 中高生の居場所 働いている人の辛さをいやせる場所 なじみになる心地よさと、いちげんさんでも居やすいを両立できる雰囲気のところ 誰でも野外カフェ 作業所, 製品仕上げ, ポラカフェ バレード(LGBT, 障害者 etc) <p>◆機能や施設が整った施設(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音響設備・機材が整っている場所 用具の保管場所のある施設 バリアフリー化している施設 市の施設で機材や機能が備わっているところがない 運動ができる(体をきたえる) AED が設置されている施設 費用が安く使える施設 <p>◆多世代交流(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者に子どもが遊びを教える場 子どもと高齢者の交流拠点 多世代交流の場 <p>◆移動サロン化カー</p>	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆民間企業を活用する(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間マンションの集会室 店舗のイベントを充実する 個人商店 ・カフェ ・コンビニ カラオケ店が社会貢献で常設する集会所に出前するとか 多摩川病院 宗教施設 運動ができる(ティップネス) 京王電鉄 ・バス会社 ・駅ナカ施設 <p>◆身近にある施設を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園(幼稚園) 小学校, ユーフォー(小学校内) 地域センター, 地域センター等にある食事をつくらることができる場所 公園 ・駅前広場(テントをはる) <p>◆個人宅を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家の活用 ひとり暮らし高齢者の住宅 <p>◆情報の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSの活用 <p>◆今ある活動の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域安全パトロール

【グループ2】 ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆体操・運動(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八雲台ふれあいの家, 十筋体操 ・はばたき体操(高齢者向け) ・ときわぎ国領, みかん健康体操 ・ときわぎ国領, 10の筋力トレーニング <p>◆子どもが集まる場, 青少年の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すこやか, 児童館, CAPS ・キートス(居場所, 食事, 相談等)(市外の利用者)(シニアの生きがいにもなっている) <p>◆イベント・地域行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏お祭り(小学校) ・多摩川太鼓 ・地域運動会 <p>◆お茶会・カフェ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ときわぎ国領, 地域交流カフェ ・八雲台ふれあいの家, お茶会 ・たづくり, お茶会 <p>◆国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はばたき, 外国人への日本語学習 ・たづくり, 国際交流協会, 日本語 <p>◆多世代共生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ときわぎ国領, 特養と保育園とデイサービスが同じ建物 <p>◆趣味・サークル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル(西部公民館), 地域福祉センター ・はばたき, 在庫毛糸の処分, 友人たちと編物 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドルチェ ・生涯学習センター(たづくり11階) 	<p>◆参加がしにくい(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しいお友達がいない <p>◆経済的支援が必要(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の居場所(経済的な支援も必要) ・活動のための経済的支援が必要 <p>◆担い手が足りない(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひだまりサロン設置者の高齢化, 後継者不足 ・役員の負担 ・ふれあいの家の十筋体操のスタッフが少ない <p>◆場所がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所が少ない(悩みを抱えた子どもたち) ・居場所(共働きの家庭の子どもたちを預けるところがあればよい)→小さい子向けの居場所がない ・青少年の居場所(DVや育児放棄などの発見が難しい) ・総合体育館が遠い, 近い場所がほしい, 卓球をやっている ・ふれあいの家の十筋体操, 場所の確保が難しい(並んでとる) <p>◆情報が得られない(きっかけがない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシを渡すだけで来ない, 広報の工夫, SNS・ホームページ等の活用, チラシの工夫 ・何も教えてもらえない ・介護保険のデイサービスに行きたいのだが, 条件がわかりにくい
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆いつでも交流できる居場所(●4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全世代交流の居場所(子どもから高齢者)(日中から夕食ぐらいまで) ・常設のフリースペース(予約不要) ・いつでも時間関係なく行ける場所 ・いつ行っても開いている, 有料で食事 ・夜も行ける場所(昼はすでにある) <p>◆誰が行っても交流できる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人でも行ける場所 ・はじめに行ける場所(窓口), きっかけとなる場所 ・誰でも行ってよいところ ・身近で拠点を紹介(相談)してくれる場・人 ・ひとり暮らしの方向けのイベント <p>◆介護をされている家族が話したり, リラックスできる場所</p>	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆学生・シニアなどの人的資源(●6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電通大の学生, 若い力(「調布まち活フェスタ」には実行委員で来てる) ・地域活動に参加すると単位をもらえるようにしてもらおう→きっかけになればよい ・集いの場へ行くための付き添いボランティア ・市内に居住する外国人 ・シニアの地域デビュー活動(担い手づくり) <p>◆活動スペース, 歩いて行ける場所(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設, ときわぎ国領のスペース(曜日によって空いています) ・商業施設, イーヨーカドーを有効活用できれば ・空き家, 自治会(市)の援助 ・行政による居場所の確保(空き家など) ・集会所, 都営・市営住宅の集会所, 職員(市)の援助

(6) 染地・杉森・布田小学校地域 (2グループ)

【グループ1】 ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆フォーマルな施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校, 中学校, 体育館 ・ 染地地域福祉センター ・ 児童館 ・ 図書館 ・ 染地ふれあいの家 ・ 老人憩いの家 ・ こころの健康支援センター ・ シルバー人材センター <p>◆インフォーマルな施設(使い方がフリー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会館 ・ マンション集会所 ・ 1号棟集会室 ・ 多摩川住宅各自治会室 ・ デイサービスゆらく ・ サービス付高齢者向け住宅 ・ 多摩川堤 ・ 公園 <p>◆ひろく認識されている季節イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練 ・ 防災教育の日 ・ もちつき ・ 盆踊り ・ 地域運動会 ・ 耐寒マラソン ・ 健全キャンプ等行事 ・ 福祉まつり ・ 染地ボランティアまつり ・ 団地まつり <p>◆場所と交流の内容がひもづいているもの(定期・年中開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハッピーウォーク(地区協) ・ おとな料理教室(地区協) ・ ハッピー子ども食堂 ・ スーパーのオープンスペース(ソファ・いす有) ・ 10の筋力トレーニング ・ まさるの会, サロンたまりば(多摩川住宅) ・ ひだまりサロン(男性参加, 飲酒あり) ・ Omiso 	<p>◆運営の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフの高齢化, 確保が大変 ・ 団体間の情報共有方法 ・ 交流は集まるだけじゃない(訪問とか) ・ 会場費の捻出 ・ 活動を続けていくこと <p>◆根本的な大きな課題(市の介入必要), 情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使える場所の情報を得にくい ・ 活動拠点があまりないエリア ・ 目的がなくてもいられる場所の確保 ・ 会場の予約方法がアナログ ・ 使用するのに制限がある(予約制, 料金) ・ 情報不足 ・ 定期的な活動日程の確保が難しい <p>◆ひろく参加してもらおううえでの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来てもらいたい人に来てもらえない ・ 男性の参加が少ない ・ 幅広い世代が集まらない ・ 乳児の集まれる場が少ない ・ 入りにくい
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆すべての情報を得ることができる場所(●6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調布市の情報ステーション(あらゆる情報がキャッチできる, アクセスできる場所) ・ 活動場所の一览・予約ができるサイト ・ 掲示板 <p>◆世代間交流できる場所(●4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児を育てている親か相談できる場所があればよい(訪問などを含め) ・ 高齢者と子どもがふれあえる場(施設) <p>◆自由に目的なく集まれる場所(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつでも誰でも来られる場所 ・ 内容の決まっていない自由な集まり ・ 予約をしなくても使える場所 <p>◆ボール遊びができる場所(●1)</p>	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆ふらっと集まれる場所(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーやカフェなど民間の店(既に集まりができてい場所) ・ 郵便局, 銀行 ・ 飲食店 <p>◆今ある使い方と別の使い道がありそうな場所(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農園 ・ 日活撮影所 ・ 保育園, 幼稚園 <p>◆いろいろな経験をもつ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者 ・ 育児経験のある女性(日中家にいる人) <p>◆自由に動き回れる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツクラブ ・ サッカー場



【グループ2】 ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 染地地域福祉センター(各種会議, 図書館, 地区協議会, サロン, サークル, 出前講座, ボランティアまつり) 染地ふれあいの家 ・老人憩いの家 (旧)あゆみ学園 杉森小児童館 <p>◆生活に近い拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩川住宅の各集会室(サロン, サークル, 筋カトレニング, 出前講座) マンション集会室(サークル, 老人クラブ, 出前講座等) ・集会所 いなげやスーパーのベンチ, テーブル 公園 ・カフェ <p>◆地域におけるイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> チャリティーウォーク 赤ちゃんとママの集い 10 筋体操(南調布協会等) 防災イベント, 防災訓練 絵本読み聞かせの会 納涼祭, 地域運動会(地区協議会) 多摩川住宅団地まつり ・杉森小学校まつり 	<p>◆制度面で</p> <ul style="list-style-type: none"> 抽選形式→イベント予定日を確定しづらい 優先順位→新規参入が難しい 借りられるのかわからない→集会室 <p>◆場所の利便性・汎用性</p> <ul style="list-style-type: none"> 会場について遠い, 近くで 「戸建エリア」の住民の集う場所が少ない <p>◆イベント内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催時間によって参加者が限定される 介護のことなど気軽に相談できる場所が少ない 年代が絞られる内容 ・世代間交流がない 子どもと高齢者のふれあう場所が少ない(染地) <p>◆人材不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 「戸建エリア」の自治会活動が盛んでない 団地まつりの高齢化, 若手が参加しない, みこしの担ぎ手がいらない 地域運動会, 子どもの数が減り参加団体減 老人クラブやひだまりサロンの役員の高齢化 防災訓練の参加者の減少 お節介な人の不足 <p>◆お金</p> <ul style="list-style-type: none"> 集会室, 有料制 ・活動直後は資金難多い
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆将来のためのイベント活動内容 【多世代交流のための・・・】(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティカフェ ・くらしの相談所 子どもと高齢者が交流できる場所 高校生・学生も入れる話し合い 子育て世代, 30・40 代の方が集まれるイベント <p>【地域交流のための・・・】(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> マイスターの店 ・新住民との交流の場 誰でもふらっと来て過ごせる場所 いどばた会議ができる場所 家族介護, 子育て, 情報交換・ぐちを言える場所 コミュニティイベント会場 <p>【子どものための・・・】(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂 ・食事 ・無料の塾 交流を通して見守る(不登校, 虐待) <p>【高齢者のための】 ・高齢者の相談所</p> <p>◆あると助かるサービス(●3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんと遊びたいお年寄りと預けたいママ 役割の活動→お助け隊, 例 10 分 100 円 24 時間オープン 納涼祭の準備に昼食を出す, 手伝い増 情報発信の方法工夫(SNS, 若い世代へ) 再開発計画に市が参加して場所の確保 うめぼし, 料理の技術を学びたい 	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆大人(●5)</p> <ul style="list-style-type: none"> お節介な人 子育てを通したお父さんの力を活用できたら 子育て世代の力を借りれる企画 退職された先生 技術をお持ちの方 <p>◆子ども(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 面倒見の良い子 三中の学生, ボランティア 吹奏楽部, ボランティア学生 <p>◆地域交流のために使える場所</p> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川原 多摩川→活動の倉庫とか <p>【公共施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 染地地域福祉センター, 小さめの和室はけっこう空いている 染地ふれあいの家→アクセスがあまり良くないが会議室はけっこう空いている 老人保健施設いなほ 染地一時避難所 <p>◆民間</p> <ul style="list-style-type: none"> コンビニ→地域活動の掲示板とか

(7) 第一・富士見台・多摩川小学校地域（1グループ） ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆様々な活動場所(●1)</p> <p>【公】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合福祉センター(社協) ・ 下石原地域福祉センター ・ たづくり会館 ・ 調布南高校 <p>【民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンジェ ・ お寺 ・ 修道院 ・ 多摩川カフェ大好き ・ 自治会館 <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩川 <p>◆活動の内容, 自治会でのイベント等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひだまりサロン ・ 自治会でバス旅行が年に一度ある ・ ターザン公園で自治会のまつりが年に一度ある 	<p>◆情報が伝わらない</p> <p>【ニーズが把握できない】(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不自由な方がどこにどれくらいか ・ どのような人がどのようなニーズがあるのか見えない ・ 情報の共有に課題 <p>【資源を知らない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点を知らない・施設が見えない(わからない) <p>◆若手不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人が少ない・ボラの若手が少ない <p>◆世代間交流(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助け合いの心を子どもたちにつなげたい <p>◆災害時の助け合いができない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の住民の動き・障害者対応 <p>◆笑顔で安心して暮らせるまちにしたい</p> <p>◆一人で家からなかなか出られない方をどうするか</p> <p>◆民生委員の役割がわからない</p> <p>◆つながりが少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいをしてよいかわからない(声かけ) ・ 人のかかわりを考えたい・多摩川さみしい <p>◆施設が予約しづらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設が予約しづらい(ふれあいの家等) ・ 空き家を再利用したい <p>◆自分のできることを広めていきたい</p>
これからの拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆居場所づくり, 気軽に話せる環境づくり, オープンな場所(●4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常設の場・何もなくても寄り合える場所 ・ 家に居づらい子が集う場・子ども食堂 ・ 無料の学習支援, 小学生対象 ・ 暮らしの保健室・重度の方の受け入れ先 ・ 話ができる場・歩いて行ける距離にサロン <p>◆中間就労できる場</p> <p>◆人と人とのつながり, ちょっとしたつながり(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 転入者歓迎会 ・ 高齢者・障害者の実態把握の上, 地域活動づくり ・ 誰もが参加しやすい活動の支援 ・ 例えば拠点の中で相談者みたいな方を作る <p>◆自治会の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティづくりの手法, 活性化 ・ もっと小さい単位で, 自治会の班でまず問題点を出す・交流 ・ 自治会の活性化, 交流の深まり <p>◆フリーマーケット(地区の)</p> <p>◆地域でのおてっだい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易な便利屋, サロンとの連携 <p>◆訪問(自分で歩いて出られない人, 話すだけでも)</p> <p>◆福祉人材育成・介護ヘルパーの不足</p>	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆人材</p> <p>【学生】(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電通大, 子ども食堂・先生・大学生 <p>【一芸のある人】(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌好き, 楽器がひける etc <p>◆情報発信の方法(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン・スマホではないつながり方 ・ 世代に合わせた情報発信 ・ 災害時に避難所になり得る場所＝市との協力 ・ 若い人(情報発信必要) <p>◆建物に合わせた活用(●1)</p> <p>【空き家】(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家・空き店舗 <p>【地域の身近な場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カフェ・コンビニエンスストア ・ 自治会館・児童館・福祉施設 <p>【人が多く集まる場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京王閣 ・ 修道院・病院 <p>【地域の食材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食堂として使える農家の方の提供等 <p>◆ニーズのマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・専門学校等とのマッチングと人材育成

(8) 第三・石原・飛田給小学校地域（2グループ）

【グループ1】 ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆公共施設での交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 西部公民館, 飛田給ひまわりの会 西部公民館, 健康体操 お茶会 西部地域福祉センターで体操等 富士見地域福祉センター(年1回お祭り) 青少年 CAPS ふれあいの家, 様々な地域ニーズ <p>◆福祉施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望の家の集会所 飛田給特養爽爽荘, 地域交流スペース <p>◆地域・民間</p> <ul style="list-style-type: none"> 上石原, 若宮八幡神社 都営住宅の集会場 <p>◆スポーツ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 上石原, 西調布体育館 味スタ(スポーツ, コンサートのイベントなど) 	<p>◆PR不足(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動内容の情報が少ない 存在を知らない(PRした方がよい) 場があることがあまり知られていない <p>◆参加者が少ない・限定されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 世代間交流が少ない 若い人の出席がなく, 年寄りだけ, 男がすべてをやる サロンで一緒に活動して下さる方がいない(現在2人) <p>◆場所が足りない</p> <ul style="list-style-type: none"> 予約・場所とり, 公民館 予約大変 サロンで毎月予約日を取るのが大変 場が少ない 駅から遠い, バスも少ない
	あるとよい地域交流拠点の内容	拠点到活用できる地域資源(場所・人・その他)
これからの拠点	<p>◆誰もが参加しやすい(●4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰でも来られるスペース 一人で静かに過ごす場所 一人でも参加しやすい 多世代が交流できる場所 ふらっと参加できる(予約は面倒くさい) 気軽におしゃべり 子どもが安心して参加できる, 親も参加しやすい <p>◆楽しいイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲みながら話し合える場所 お餅つき等の伝統行事 講座などでそれぞれの特技・趣味が活かせる場 みんなが参加できる地域のスポーツ大会等 音楽会とか子どもが騒いでも大丈夫な 地域交流, カラオケ大会 <p>◆社会貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域的なフードロス・フードライブの取組 フリーマーケット <p>◆心</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の職員がよい人(利用者の希望を分かってくれる) 	<p>◆幅広い人材活用(学生など)(●4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材活用 福祉に関心を持つ人 困りごと相談できる場と人 電通大の学生の活用 白百合女子大学の学生 桐朋学園大の音大生 <p>◆空きスペースの活用(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第5中(運動場が広い, 体育館) 廃校 福祉施設の地域開放 多摩川左岸の土手・スペース 空き店舗 空き家 <p>◆情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者向けのPR, インスタグラム, ツイッター 多様な施設でPR(チラシを貼る)させてほしい <p>◆サークル・団体の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 類似サークルの共同開催 施設の予約会の後に交流会(飲み会)の開催



【グループ2】 ※●は「いいね」シールとその枚数

	今ある地域交流拠点の内容(場所・イベント)	今ある地域交流拠点の課題
今の拠点	<p>◆体操</p> <ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操(西町公園) スクエアステップ運動(西部地域福祉センター) 10筋体操(公務員住宅, 上石原ふれあいの家) 太極拳, ハーモニカ(西部公民館) せいじゅ(地域包括支援センター) スポーツ交流, サレジオ修業院 <p>◆ひだまりサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ひだまりサロン, けやきぶんこ ふれあいの家 個人宅 もりもりサロン覚證寺(食事, 交流) 子育てサロン, 富士見ふれあいの家 杜と光のサロン(マンション集会室) <p>◆地区協議会イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練 <p>◆高齢者の交流の場</p> <ul style="list-style-type: none"> パパさん・ママさんクッキング(西部公民館) <p>◆子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> 西部児童館 子育てひろば 二葉学園ホール 保育園 <p>◆西部地域福祉センター</p>	<p>◆人材が不足している</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアの講習をしてくださる方がいない ボランティアが高齢化で担い手不足 人を集めたいけど広報ができない 事務担当者がいない <p>◆場所がない</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動場所がない, 空き家の利活用希望 場所の確保が難しい 場所取りが毎月大変 サロン, 絵本を置いておく場所がない, 毎回運んでいる <p>◆場所の広報が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> 意外と場所を知られていない(西部公民館) 西部公民館と西部地域福祉センターの区別がつきにくい 二葉学園ホール: 広報できない <p>◆団体の資金が足りない</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金集めに苦労しています 資金(活動費) <p>◆地域のつながりがうすい</p> <ul style="list-style-type: none"> きずなづくり
「これから」の拠点	<p>あるとよい地域交流拠点の内容</p> <p>◆誰でも気楽に参加できる場所(●4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物のついでに一休みできる場所がほしい コーヒー代くらいで利用可能な場所 無料で参加できること 飲食可 <p>◆多世代の交流ができる場所(●4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「祭り」の復活, 活性化 多世代交流ができる場 働き世代が集まれる場・イベント 若者の居場所, スポーツ, 音楽 etc 個(人)として集える, 父とか母とかではなく <p>◆常設で集まりやすい(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 常設カフェ 高齢者, 未就学児にとって歩いて行ける近さにあることが一番大事です サロン・イベント・集まりのたびに借りる場所ではなく, 固定化された場所があるとよい 毎週決まった曜日・時間にあいている場所 <p>◆学びの場(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来やりたい仕事が見つかる場(夢が持てる場) 認知症, フレイル, 在宅医療等の学びの場 学習(ご飯も食べられる)ができる場(中高生) 地域内に子ども食堂ができればよい <p>◆地域のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性が楽しめる場所 新たな互助システム 	<p>拠点に活用できる地域資源(場所・人・その他)</p> <p>◆民間施設の活用(●2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の会議室など コンビニエンスストア 移動スーパー(交流の場) 神社, 寺, 教会 住んでいる家の一部を借りる(見守りつき) <p>◆空き家(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家 廃車などの活用(家に限らない) 空き家, 空き店舗 <p>◆人材の活用(●1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元のお年寄り 団塊の世代 <p>◆開かれた教育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園との交流 高齢者がのんびりできる場所(園庭など) 園庭, 校庭で散策できないか 学校(小・中学校) <p>◆公共施設の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 西部図書館のロビー 都営, 市営の集会室 福祉施設

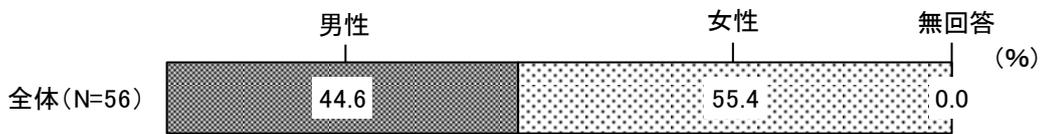
3 参加者アンケートの結果

○ 参加者アンケートは 56 人から回収した。

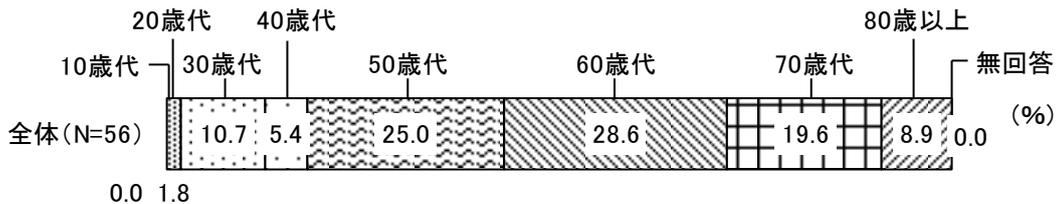
(1) 基本属性

- 参加者の性別は「女性」が 55.4%、「男性」が 44.6%となっている。
- 年齢は、「50 歳代 (25.0%)」、「60 歳代 (28.6%)」が 20%を超え多くなっている。
- 地域活動（所属団体）は、「ボランティア団体 (30.4%)」が最も多く、「ひだまりサロン (21.4%)」、「自治会 (19.6%)」が続いている。

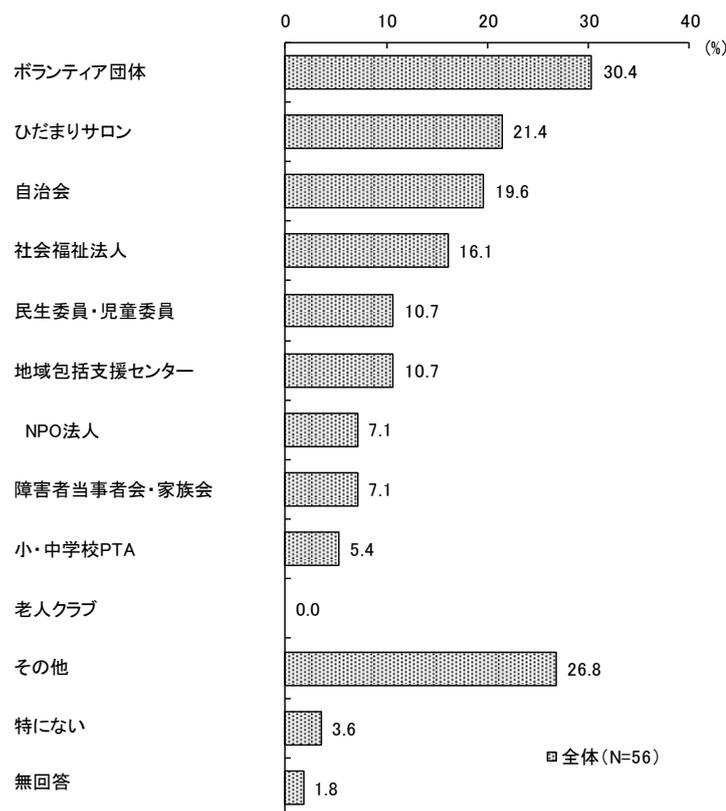
■性別



■年齢



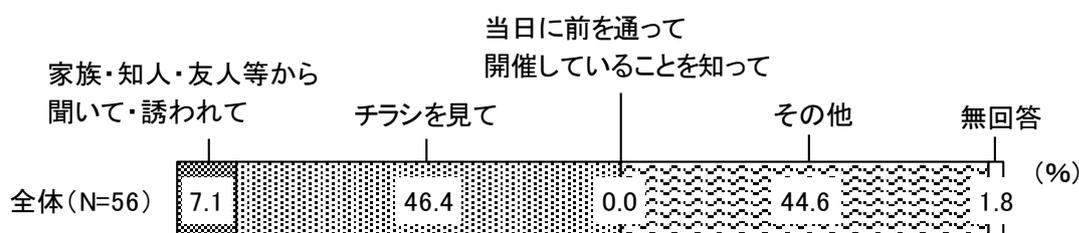
■地域活動（所属団体）：複数回答



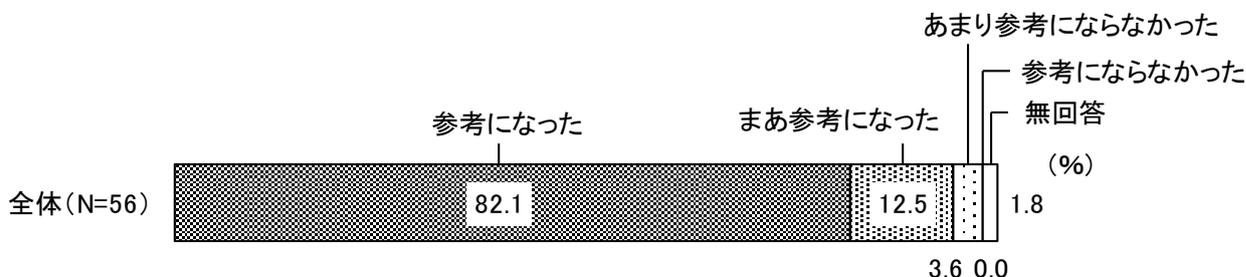
(2) 住民懇談会について

- 住民懇談会の参加経路は、「チラシを見て(46.4%)」が最も多くなっている。「その他」も44.6%で多く、具体的な内容は「市や社協からの直接の連絡」が多くなっている。
- 住民懇談会に参加して参考になった程度は、「参考になった」が82.1%、「まあ参考になった」が12.5%であり、合計すると94.6%が参考になったと回答している。
- 意見を書いて紙に貼りながら進める話し合いの方法の分かりやすさは、「分かりやすい」が62.4%、「まあ分かりやすい」が28.0%であり、合計すると90.4%が分かりやすいと回答している。
- 今後の住民懇談会の開催の必要性は、「必要である」が91.4%となっている。

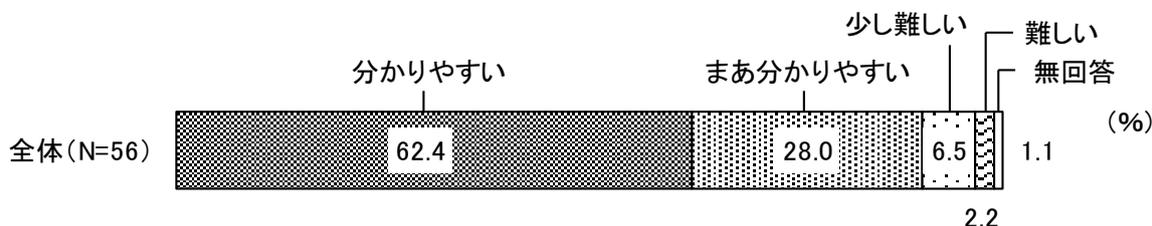
■住民懇談会の参加経路



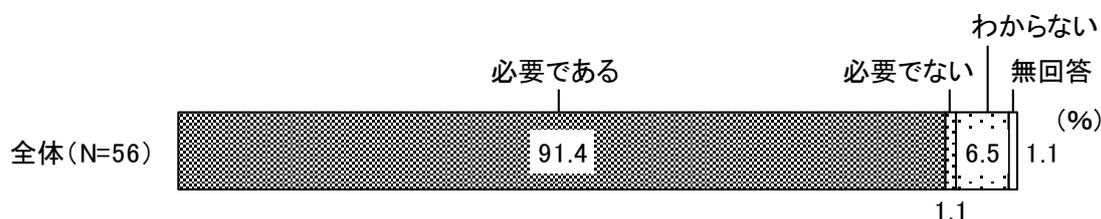
■住民懇談会に参加して参考になった程度



■意見を書いて紙に貼りながら進める話し合いの方法の分かりやすさ



■今後の住民懇談会の開催の必要性



（3）感想・意見（自由回答）

○ 住民懇談会の感想・意見について自由回答でたずねたところ、47件の回答があった。以下、主な意見を抜粋する。

■参加してよかった、勉強になった等

- ・ はじめての参加でしたが、いろいろな方のお話が聞けて参考になりました。
- ・ 地域の方の生の声が聞ける貴重な機会でもとても良かったです。
- ・ 様々な立場の方が意見を交換できる場があることは大切だと思いました。ありがとうございました。
- ・ 私自身あまりかかわっていませんでしたので、とっても勉強になりました。これからは、もっと目を向けて、少しでもかかわれたらいいなあと思っています。ありがとうございました。

■住民懇談会で出た意見の活用について

- ・ この話し合いの結果を何らかの方法でアウトプット、行政と市民で共有してほしい。
- ・ 幅広い世代の人たちに地域への思いを語ってもらい、それを吸い上げて具体的施策につなげていくのは現在でも尽力は成されているが、なかなか難しい面が多いのかなと感じた。
- ・ 出た意見をベースに、何を創り出していけるかが大事。

■話し合いの内容について

- ・ 自治会でもリーダーのなり手がなくなることが問題になっています。自治会役員の高齢化なども問題になっています。
- ・ 人と人とのむすびつきの大事さ。そのことを欲求している方が多いように感じる。きっかけ作りが必要。

■住民懇談会方法について

- ・ 意見の整理が効率よくされて良かったです。
- ・ KJ法でない進め方をのぞむ。
- ・ 市の方が直接住民の意見を聞ける。それも住民同士の話し合いの中で聞けるのがとても良いんだと思った。そして、話し合いしやすいようにKJ法+それをまわすコーディネーターをつけていたので、とてもやりやすかった。
- ・ 課題が多い為、もう少しカテゴリーを分けて話し合いができると良いかと。
- ・ 地域の活動を考える上で大切だと思います。その地域住民にランダムにチラシを郵送して、参加をお願いしてもいいのでは。

■参加者少なかった

- ・ 参加者が少なく残念。もっと地域の近くで実施してほしい。
- ・ 開催場所がもっと地域に近いところ、地域の中であるほうが、もう少し人が集まると思う。
- ・ 参加者を増やすための工夫が必要。

■その他

- ・ もっと分かりやすいチラシにした方が良いでしょう。

第2章 専門職懇談会の結果

1 概要

(1) ねらい

- 圏域・分野をこえた相談支援機関の職員が、複合的な課題を抱える人・世帯の事例、相談機関同士・行政と連携を図る場合の課題を話し合い、包括的な相談支援体制の構築に向けた課題を把握する。
- 懇談会の結果については、相談支援包括化推進会議で報告・検討を行う。

(2) 実施概要

参加者	調布市内の相談支援機関の職員 地域福祉コーディネーター，地域包括支援センター，障害者相談支援事業所，子ども家庭支援センター，生活福祉課相談員，調布ライフサポート，社会福祉協議会(CSW)等
テーマ	①相談機関同士・行政と連携を図る場合の課題 ②包括的な相談支援体制の構築に向けた課題
開催回数	1回
実施時期	令和2年1月24日(金)
場所	調布市文化会館たづくり 10階 1002会議室
実施手法	○各相談支援機関から1人ずつ5～6人で1グループとし，3グループで，グループディスカッション形式の懇談会を実施。 ○事前アンケートで各相談支援機関に「①相談支援機関で対応に困った事例や現在困っていること，制度の狭間と感じていること」，「②複合的な課題を抱える事例の支援・グレーな支援であるが現場では有効な支援やテクニック」を聞き，資料化して配布。

(3) 当日の内容

1. 開会
2. 導入
3. グループごとの時間
 - (1)グループごとの話し合い①:相談機関同士・行政と連携を図る場合の課題
 - (2)グループごとの話し合い②:包括的な相談支援体制の構築に向けた課題
4. 結果共有
 - ※各グループの代表者が話し合いの内容を発表
5. 閉会

2 懇談会での主な意見

【グループ1】

相談機関同士・行政と連携を図る場合の課題

◆複合的な課題を抱える人・世帯のケース、狭間のケースの支援の課題

○8050 問題、ひきこもり状況にある方

- ・ 地域包括支援センターでは高齢者支援の中で、家に行くとひきこもり状態にある方を見つけることがある。
- ・ その場合、親の年金等で生活しており、本人が支援を望んでいないし、困っていない。健康で障害もない場合もある。現状の支援としては社協のCSWがつながり続けるしかない。
- ・ ひきこもり状態にある方のケースは最初にどこが入るのか、慎重に考える必要がある。
- ・ ひきこもり状態にある方は多様な課題を抱えている。一つひとつのことに相談にのる人が重要である。
- ・ 「50」になる前の若い時からの支援のあり方が重要、中学校から、若い時からの支援を考えていけるとよい。隠している家庭も多い。
- ・ 中学校がターニングポイントになる。中学校までは市で不登校を把握している。
- ・ 生きづらさを相談できる場所がないといけない。

○虐待のケース

- ・ 虐待をしている人が発達障害もしくはボーダーの場合があるが、受診できる病院は少ない。また本人が受診を望んでいないと意味がない。
- ・ 本人は「障害」だと思っていないので障害福祉課が入るタイミングは難しい。家族が障害福祉課に連絡したとなると、家族関係にも影響するので、保健所、健康推進課の方が入りやすい。
- ・ 高齢者虐待について被虐待者と養護者が利益相反になるときが困難（守る権利が異なる）。特に相談員一人で支援しているとお互いの希望を聞くのが辛い。
- ・ 8050 問題で、子どもが親をネグレクトしている場合、子どもが収入はあるのに金銭管理ができていないケースがある。

○ごみ屋敷

- ・ ごみ屋敷の問題は本人は困っていない。近隣が困っている。
- ・ ごみ屋敷は背景によってアプローチが異なる。
- ・ 地域包括支援センターでは、ごみ屋敷は行政の担当がないので、社協のCSWと連携して対応している。
- ・ サービス事業者から、退院後のサービス利用等について、ごみ屋敷で家に入れないと地域包括支援センターに連絡があることがある。本人は精神に課題を抱える人が多い。
- ・ 団地にもごみ屋敷はある。建て替えの予定があると対応しなければいけない。
- ・ ごみ屋敷の片づけはボランティアの方に頼まざるを得ない。
- ・ ごみ屋敷の解決のためには制度・方策が必要である。今後の課題である。

◆相談機関同士・行政と連携を図る上での課題

○情報共有が必要

- ・ 日々、社協のCSWと相談支援機関の専門職との情報共有が重要、知識の共有も重要。

○つなげ方が難しい

- ・ 8050 問題の場合、地域包括支援センターから障害者支援担当につなぐタイミングが難しい。担当課につながるまで数年かかることがある。最近では社協のCSWにつなぐことができるのでよい。
- ・ 地域包括支援センターでは最初に接点を持つために病院についていくこともある。本人と関係を作って受診してもらうまでに時間がかかる。

包括的な相談支援体制の構築に向けた課題

◆複合的な課題を抱える人・世帯のケース、狭間のケースの検討・蓄積できる会議

- 8050 問題等の複合的な課題を抱えるケースのモデル検討できる会議があるとよい。
- 相談機関同士と一緒に事例を検討できる機会があるとよい。
- 蓄積して検討できる必要がある。
- 狭間のケースを考える場が必要。

◆情報共有

- それぞれの相談支援機関が知っている社会資源の情報共有は重要である。
- どこにもつながらないケースを相談支援機関同士で共有できるとよい。
- 地域で困っていることについて共通認識を持ちたい。
- 個人情報に関する壁について、「もらさない」という同意を取る仕組みがあればよい。解決に向けた関係者会議。

◆機関同士が知り合う・顔を合わせる機会が必要

- 機関同士のつながりをつくる会議があるとよい。
- 1年に何回か事例検討をする。もしくは顔合わせをする。
- 他の相談支援機関を知りたい。お互いの仕事を知らない。知ることで他機関へのつなぎ方も分かる。相談も受けやすくなる。
- 本人の思い、辛さも共有していけるとよい。
- 高齢者支援側は子育て支援側のことがわからない。(児童虐待等)
- 8圏域ごとに連携会議があるとよい。子ども・子育て支援分野も参加。

◆多分野連携、縦割りではない支援

- 縦割りではない地域ケア会議があるとよい。
- 高齢と子どもをつなげる。子ども食堂は高齢者の生きがいになる。
- CSWが一人では足りないのでは。
- 8圏域ごとに話し合えるとよい。
- 押し付け合いをしない。みんなが協力的で前向きに検討できる体制を構築できるとよい。
- 困った時にスポット的に協力できる相談支援機関同士の関係ができるとよい。
- 支援について企業にも参加してもらえるとよい。



【グループ2】

相談機関同士・行政と連携を図る場合の課題

◆事例

- 本人が困っているけれど声を上げられないケースはニーズを拾い上げられない
- 本人は困っていないが、周囲は何かあると思っている方に対して介入しにくい
- 精神疾患がある人で、普段は薬で精神的に安定している人が突然危険なことをしても対応ができない。
(ex.8050 世代の 50 のほうの方が、親に包丁を向けたことがある)
- 8050 の 50 のほうの方で、親の死後、様々な理由で親戚を含め他の人とのつながりがなくなった方。ライフサポートとしかつながっていないため、今後どうするかが課題。
- 親の行動が精神疾患のある子の体調に影響がある場合、世帯分離ができるとよいが、難しい。また、親の浪費により、子のお金が減っている。
- 生活保護まではいかないが、お金がない方に対して対応が難しい。
- まだ若い大黒柱の方が倒れると、お金・住居等に課題が出る。どの機関にも支援の基準に届かない方への支援がむずかしい。

◆個人情報の壁

- 個人情報が壁になって連携が難しいことがある
- 主たる支援者を含め、確認したいが、できない
- 本人同意がないと話せないと言われることがある
⇒個人のことでなく地域の課題を考えるというスタンスで話すと良いのではないか

◆縦割の壁

- 教育、ごみ屋敷等の福祉以外の分野とどこまで一緒にできるのかが、むずかしい
- 問題が複数ある場合、どこが責任をもって支援をするのか決まっておらず、支援がむずかしい。どこが支援のパッケージを提供できるかが課題

◆連携先の情報が不明確

- 関係がありそうな機関がどこまで関わってくれるか分からない
⇒本人にとって良くなるための支援をするために、関係者カンファレンスを開いていくことが必要

◆個人による差が無いように！

- 人によって対応が違う
- 個人の裁量に任せすぎている



包括的な相談支援体制の構築に向けた課題

◆福祉以外の分野との連携

- もっと早く支援機関に関わっていたらと思う事例が多いため、教育機関など、福祉以外と連携ができるとうい

◆縦割の壁

- 制度に枠があるのは分かるが、少しゆるやかに対応してほしい
- お互いに枠を飛び越えて支援ができると良い。ただ、そうすると職員にも負担がかかる
- 一つの機関だけでは支援がむずかしいため、一緒に考えてくださいというスタンスを皆さんが持ってくださいと良い
- できないことを声高に言わずに、聞く耳だけでもほしい

◆年齢の壁

- 18歳になったところで支援を離れていく機関がある
- 地域包括支援センターは高齢者の課題なら何でも良いだろうという考えをもっている人がおり、65歳になったことをきっかけに、2階にある落ちきそうな鉢植え等の課題についても相談がある。しかし、もっと早く他の機関で課題を解決できなかったのかと思うことがある
- 鉢植え等については、本人にアプローチしても変化が見られない。

◆対象者への寄りそい

- 介入が難しいケースでは、本人が何を望んでいるのか考え、受け入れていき、一緒に頑張ろうという信頼関係を築くことで支援に入れることがある。
- 本人が時間をかけて支援をしなければならぬ方は、相談や話し合いをしながら少しずつ分かっていく

◆相談機関の間接支援体制

- 担当者が変わることで支援が動き出すことがある。関係機関から関係機関につないでもらえると良い

◆顔の見える関係

- 顔の見える関係があると連携しやすい



【グループ3】

相談機関同士・行政と連携を図る場合の課題
<p>◆複合的な課題を抱える人への支援をつなげる上での課題</p> <p>○相談先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域によって誰に相談すればいいかわからないことがある。 <p>○複数の機関や行政とのつなげ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当する課が複数にまたがっていて、支援が難しい。 ・ どこが担当するのか、どこなら担当できるのかという押し付け合いのような感じがある。 ・ 他の関係機関とアプローチを図りたいが、ハードルが高い場合がある。 <p>◆地域福祉コーディネーター(CSW)との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CSW は柔軟に動き、連携を図りやすい立場にいるが、まだ関係機関との連携が浅い。役割の認識があまりされていない。 <p>◆各機関の優先順位の差異</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機関ごとに支援に介入するタイミングが異なる。 ・ 介入できる機関から入っていく必要がある。支援の流れには機関ごとの見立てがある。 ・ 利用できるサービスであっても、適切に提供するタイミングがある。 ・ 地域包括支援センターで連携の考え方がすこし異なっている。 <p>◆連携を強化するための会議体</p> <p>○話し合いの場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援に入る前に、話し合える場が必要。 ・ さまざまな関係者が一緒に考えて課題を把握する必要があるが、まだそこまで至っていない。 ・ 地域生活の課題を考えるのであれば、もっと広い分野で話し合い、連携した方がよいが難しい。 ・ 状況によって、その時にどのような関わり方が必要なのか把握や共有するために、連携が必要。 <p>○会議の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の参加者にはどのような目的で、どのようなことを期待して集まってもらっているのかを理解してもらった上で会議をしないと、参加者の関係性が変わってしまう。 <p>◆個人情報の壁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報を提供してくれるところと、そうでないところがある。個人情報の問題をクリアする必要がある。 <p>◆住所地の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援が必要な方が学生の場合、住民票をおいていないことが多く、関係機関との連携が取りにくい。
包括的な相談支援体制の構築に向けた課題
<p>◆関係機関、担当課の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を細分化して、関係する機関を集まってもらうことで、具体的な解決策が出てくる。 ・ 複合的な課題を抱える場合、どこの課が担当するのかがわからない現状がある。 <p>◆会議体の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じような趣旨の会議が多く、会議の回数も多い。 ⇒集約化することで、連携体制の構築につながる。 ・ 話し合うことが目的になり、結果につながらない会議が多い。 ⇒会議のテーマを明確にし、目指すテーマをしっかりと決める必要がある。 ・ 包括的な相談支援体制を構築するためには、みんなで考えていく必要がある。誰でも意見しやすい場をまずはつくりたいといけない。 <p>◆圏域ごとの体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8圏域ごとに課題をすくい上げる仕組みはできたが、圏域内のネットワークの構築はこれからである。 ・ 8圏域の圏域レベルで解決に向けて、体制の構築をした方がよい。